

2015/05/1

加盟団体 代表  
長拳技能検定受験者各位

NPO 法人東京都武術太極拳連盟

## 2015 年度長拳技能検定（3 級～6 級）

### 実施要項及び関係書類送付の件

拝啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

今年度も本連盟の長拳普及事業の一部として、下記の日程で実施いたします。  
本状とともに、必要な書類を同封してご案内いたします。

敬具

記

### 2015 年度長拳技能検定（3 級～6 級）

#### 1. 同封書類

- ① 2015 年度長拳技能検定(3 級～6 級)の実施要綱及び関係書類送付の件（参考）
- ② 2015 年度長拳技能検定(3 級～6 級)の実施要綱
- ③ 「受験申請者一覧表」
- ④ 「6 級～3 級申請・登録報告用紙」（書式 2～5）
- ⑤ 実施会場地図

#### 2. 実施日

2015 年 8 月 30 日（日）

#### 3. 実施場所

京橋プラザ区民館 2 階 多目的室

東京都中央区銀座 1 丁目 25 番 3 号

（別紙参照）

#### 4. 時間

- |           |  |
|-----------|--|
| 9 時 20 分  | 開場   |
| 9 時 30 分  | 受付   |
| 9 時 45 分  | 開会の挨拶・諸注意                                    |
| 10 時      | 技能検定講習会開始<br>(短時間なので基本的な動作と検定のやりかたを講習いたします。) |
| 11 時 30 分 | 昼食、休憩  |
| 12 時 30 分 | 閉会式を先に行い 検定開始。                               |

検定終了し手続きが終了次第流れ解散。

16時45分にはすべての行事を終了する。

※上記スケジュールは受講者の数、講習の進行状況等により、当日調整する可能性もありますので、予めご了承下さい

5. 提出書類

「6級～3級申請・登録報告用紙」

「受験申請者一覧表」

6. 締切日 2015年7月24日(金)

品川区連締切: 7月13日

注意:(都連到着の締切日です。区市連、県連の締め切り日は各連盟にお問い合わせください。)

7. 受験料及び登録料の支払いについて。

受験料は7月27日(月)～7月31日(金)の間に下記口座にお振込み下さい。

※合格者の登録料については後日連絡する期間にお振込み下さい。

振込先

りそな銀行 東京中央支店 普通預金 No. 5738806 口座名: 特非) 東京都武術太極拳連盟検定部
--

8. 持参するもの。

運動できる服装、スポーツシューズ タオル 飲料 保険証のコピー 等

9. 注意事項

飛び級は3級までできる。

当日の講習会に参加しないと受験できません。

試験場は原則として、受験者本人しか入場できません。

当日のカメラ及びビデオ撮影はできません。

以上

参考

# 公益社団法人 日本武術太極拳連盟

JAPAN WUSHU TAIJIQUAN FEDERATION

〒102-0085 東京都千代田区六番町9 九番館ビル2階  
TEL 03-3265-9494 FAX 03-3265-9550  
Kyubankan Bldg. 2nd Floor, No. 9 Rokubancho, Chiyoda-ku Tokyo JAPAN  
http://www.jwtf.or.jp/ E-mail: jwtf@jwtf.or.jp

文登第3492号  
2015年1月20日

都道府県連盟代表 各位

公益社団法人日本武術太極拳連盟  
専務理事 岡崎 温



## 2015年度・長拳技能検定（3～6級）実施要綱および関係書類送付の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本連盟の本年度の長拳普及事業として、

- － 2015年4月1日～2016年3月31日に、技能検定3～6級を実施します。
- － 後期（10月1日～2016年3月31日）に、技能検定1～2級および公認普及指導員認定を実施いたします。長拳1～2級技能検定は、本年度も、東日本・西日本の2会場以外でも行う予定です。（場所、日程未定）
- － 公認B・C級指導員認定は、本年は東日本会場で実施いたします。（8～9月頃を予定）

本状とともに、技能検定3～6級に関し、下記の書類を同封してご案内いたします。ご精読のうえ加盟団体宛に書類を必要部数複写したうえで、ご転送、ご連絡下さるようお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. 同封書類：

下記の書類を同封します。

- 1) 「2015年度長拳技能検定（3～6級） 実施要綱」（2部）
- 2) 「実施申請書 兼 技能検定審査員配置報告書」《長検 書式1》（1部）
- 3) 「「6級」申請・登録報告用紙」《長検 書式2》（2部）
- 4) 「「5級」申請・登録報告用紙」《長検 書式3》（2部）
- 5) 「「4級」申請・登録報告用紙」《長検 書式4》（2部）
- 6) 「「3級」申請・登録報告用紙」《長検 書式5》（2部）
- 7) 「受験申請者・登録者一覧」《長検 書式6》（1部）
- 8) 「技能検定実施報告・検定登録一括申請書」《長検 書式7》（1部）
- 9) 「長拳技能検定 6級判定用紙」（1部）
- 10) 「長拳技能検定 5級判定用紙」（1部）
- 11) 「長拳技能検定 4級判定用紙」（1部）
- 12) 「長拳技能検定 3級判定用紙」（1部）
- 13) 「公認指導員用指示書」（1部）
- 14) 「実施団体 検定作業手順」（1部）

#### 2. 実施期間・実施範囲・受験資格・受験方法・受験料・登録料・審査員資格：

##### － 実施期間・実施範囲；

本年度の実施は、4月1日から2016年3月31日の期間で、6級、5級、4級、3級の4級位に限定して実施します。

##### － 受験資格・受験方法；

5級～3級の各級は、飛び級で受験することが可能です。飛び級で、5級・4級・3級をそれぞれ受験する場合は、下位級の試験内容も同時に受験しなければなりません。この場合、上位級が合格判定であっても、その下の級が不合格判定であれば、さらにその下の級の合格級をもって合格級位とします。

例；4級を受験し、4級が合格判定であっても5級試験科目が不合格判定の場合で、6級試験科目が合格判定であれば判定級位は6級となる。

5級を受験申請し、5級は合格判定、6級の試験科目が不合格判定であれば、級位は与えない。

－ 受験料；

6～4級=いずれを受験しても、24歳以下は1人1,500円、25歳以上は1人3,000円（年齢基準は、試験当日）。飛び級受験の場合も同額、同時に受験する下位級の受験料は不要。  
3級=24歳以下は1人2,000円、25歳以上は1人4,000円。  
飛び級で3級を受験する場合も同額、同時に受験する下位級の受験料は不要。

－ 登録料；

6～4級=1,500円 3級=2,000円

－ 審査員；

実施都道府県が審査員を配置・委嘱する際には受験級位にもとづき下記の人員をご手配下さい。  
6級～4級=C級以上1名、普及以上2名 3級=B級以上1名、C級以上2名  
各審査員グループは計3名で実施して下さい。

3. 手 続：

1) 実施組織：

単独または合同の都道府県連盟が実施する。都道府県連盟以外の加盟団体が直接実施することはできない。都道府県が合同またはブロックで実施する場合、担当窓口を1都道府県に定め、その都道府県連盟が日本連盟にたいする事務手続を行う。

2) 実施組織の作業手順；

- ① 実施都道府県連盟は、検定実施予定日の遅くとも1～2ヶ月前までに、「実施申請書 兼 技能検定審査員配置報告書（書式1）」を日本連盟に送付する。1審査グループ3人の審査員のうち、自前で配置を推薦できる審査員氏名を該当欄に記入し、日本連盟に配置を依頼したい審査員欄は空欄にしておく。
- ② 日本連盟は上記に基づいて審査員を確定し、都道府県連盟に通知する。都道府県連盟は、審査員と連絡をとり、事前に実施についての打合せを行なう。
- ③ 実施都道府県連盟は、検定実施前に、受験者から「申請・登録報告用紙（書式2～5）」による申請を受理し、受験料を徴収しておく。
- ④ 申請者は申請・登録報告用紙（書式2～5）」の該当欄に所定事項をすべて記入すること。本人が中学生以下（中学生を含む）であれば、保護者氏名、住所を記入し、保護者印を捺印すること。この場合、保護者印と本人印は同一でかまわない。  
現在4～6級を有している場合は、該当欄に必ず取得している級位とその証書番号（証書に印字されている9桁の番号）を明記すること。
- ⑤ 検定実施後、ただちに合否判定を受験者に通告し、合格・登録者から登録料を徴収する。
- ⑥ 実施都道府県連盟は、検定実施後1ヶ月以内に、日本連盟に、
  - － 「受験申請者・登録者一覧（書式6）」と、登録者分のみの「申請・登録報告用紙（書式2～5）」（登録辞退者のものは不要）、「技能検定実施報告・検定登録一括申請書（書式7）」の3種類の書類の原本を送付し、コピーを保管しておく。
  - － 登録料は、6～4級までは、1人600円×登録人数分を、3級登録者は1人800円×登録人数分の合計金額を下記の指定銀行口座に、振り込んで納付する。  
登録料の都道府県割り当て3割、加盟団体割り当て3割（各々、6～4級までは、1人450円、3級は1人600円×登録者人数）はそれぞれ、都道府県連盟と申請者の所属する加盟団体の財収とする。

指定銀行口座： みずほ銀行四谷支店 普通預金1757800

口座名義： 公益社団法人日本武術太極拳連盟 検定部

4. 収支決算：

本年度の6級～3級の長拳技能検定の実施費用は、原則として、同封の「実施団体 検定作業手順」に記載されている技能検定試算に基づいてまかなっていただき、収支の過不足、特に不足額が計上された場合も、基本的に実施組織でまかなっていただきます。したがって、日本連盟にたいして収支決算報告を行うことは義務づけません。しかしながら、今後の進展と実施態様を発展させるための資料として、また、社会的責任を有するアマチュアスポーツ団体として、公正な収支決算を行い、その記録を必ず保管しておいていただくよう、お願いいたします。

特に、「公益法人改正法」の施行に伴い、近い将来、技能検定の公益性を保証するために、会計監査が行われる可能性があることに留意してください。

5. 証書と象徴物：

日本連盟は、実施報告受領後1ヶ月以内を目安に、実施団体に登録者の証書（6～3級）と3級位のみ象徴物としての「ピンバッジ」を送付します。 以上

## 2015年度長拳技能検定(3～6級)実施要綱

2015. 1. 20

公益社団法人日本武術太極拳連盟

実施期間：2015年4月1日～2016年3月31日

級	受験資格 (学習歴)	実施主体	技能検定員	受験料	登録料
6級	3ヶ月以上	①都道府県連盟 (単独)	6級～4級はC級以上1名、普及以上 2名。	24歳以下	1,500円
5級	3ヶ月以上			25歳以上	1,500円
4級	3ヶ月以上	②複数都道府県連盟 (合同)	3級は、B級以上1名C級以上2名。 各審査員グループは3名で実施する。	25歳以上	1,500円
3級	6ヶ月以上	③ブロック		24歳以下	2,000円
				25歳以上	4,000円

### ・級位資格を所有していない場合(新規受験)について

新規受験者は、6級、5級、4級、3級のいずれかを受験申請することができる。いずれも飛び級受験ができる。ただし、飛び級受験の場合は、下位級の試験内容も同時に受験しなければならない。この場合、上位級が合格判定であっても、その下の級が不合格判定であれば、さらにその下の級の合格級をもって合格級位とする(例；4級を受験し、4級が合格判定であっても5級試験科目が不合格判定の場合で、6級試験科目が合格判定であれば判定級位は6級となる)。5級を受験申請し、5級は合格判定、6級の試験科目が不合格判定であれば、級位は与えない。

### ・級位所有者の昇級受験について

現在6級～4級を所有する人は、昇級のための受験に際しては、**受験級の申請登録用紙に必ず現級の証書番号(証書に印字されている9桁の番号)を明記すること。**

現在所有している級位の2つ以上の上位級を受験する場合(飛び級)は、現在所有している級位と受験申請した級位の間級位の試験内容も同時に受験しなければならない。6級を有している人が4級を受験申請した場合は、同時に5級の試験内容も受験しなければならない。この場合、上位級が合格判定であっても、その下の級が不合格判定であれば、さらにその下の級の合格級をもって合格級位とする(例；6級を所有している人が、4級を受験し、4級が合格判定であっても5級が不合格判定の場合、級位は変わらない。)

・6～4級の合格者には「証書」を、3級合格者には「証書」と象徴物として「ピンバッジ」を付与する。

・認定された級位は、今後昇級・昇段しない限り終身称号とし、更新手続きを要しない。

各級の試験項目と合否判定基準

基本功試験		判定基準	
段級	内容	判定基準	判定基準
6級	カンフー一体操 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 套路が通せる</li> <li>• 発声が正しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 抱拳礼が正しくできる</li> <li>• 姿勢が正しい</li> <li>• 返事がはっきりできる</li> </ul>
5級	カンフー一体操 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 套路が通せる</li> <li>• 発声が正しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 抱拳礼が正しくできる</li> <li>• 姿勢が正しい</li> <li>• 返事がはっきりできる</li> <li>• 手型の名称、形が区別できる</li> </ul>
4級	入門長拳	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 套路が通せる</li> <li>• 発声が正しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 転頭の動作を理解している</li> <li>• 歩型の名称、形が区別できる</li> </ul>
3級	カンフー一体操 1、2 入門長拳	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ぐらつかない</li> <li>• 背筋が伸びている</li> <li>• つつかえずスムーズに通せる</li> <li>• 動作と目線が合っている</li> <li>• きびきびと動作を行っている</li> <li>• 大きな声で動作と合った発声をしている</li> <li>• 各歩型が区別できる</li> <li>• 手型、手法、腿法がおおむねできている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手型、手法が正しい</li> <li>• 力点が明確である</li> <li>• 動作がきびきびと行われている</li> </ul>
腿法全体の要求			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 姿勢が正しい</li> <li>• 軸足が曲がらない</li> <li>• 軸足のかかとが上がらない</li> <li>• 正しい方向にけりあげている</li> </ul>			
腿法(正踢腿、側踢腿、斜踢腿)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• けりあげた足の足首が曲がっている</li> <li>• けりあげた足のひざが伸びている</li> </ul>			
腿法(弹腿)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 膝を曲げてからつけている</li> <li>• つま先に力が達している</li> </ul>			
腿法(拍脚)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• つま先が伸びている</li> <li>• 足の甲をたたいている</li> <li>• 音が出ている</li> <li>• けりあげた足のひざが伸びている</li> </ul>			
弓步衝拳			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手型、手法が正しい</li> <li>• 歩型、歩法が正しい</li> <li>• 姿勢が正しい</li> <li>• 力が力点に到達している</li> <li>• 上下の協調性がある</li> </ul>			

## 長拳技能検定実施方式

### タイムスケジュールと要領

開催都道府県連と受験者の負担減のため、事前講習を含めて1日で終了する。このほかに各都道府県で独自に事前講習会等を計画、実施することはさしつかえない。

以下に例として全体のタイムスケジュールを示すが、受験者数や会場の都合等で多少の変動があってもよい。

9:30	受付	・受験料徴収は事前に済ませておく。
10:00	事前講習	・6～4級と3級の2グループに分けて行う。 ・合格基準に達するよう技術指導を行うとともに、試験の方式を理解させるよう指導する。 ・受験しない一般愛好者も、別途講習料を支払い、受講可能とする。但し、受験人数が多い場合は受験者を優先する場合がある。事前に確認すること。
12:00	昼食、休憩	
13:00	開会、試験	・試験に先立ち、抱拳礼、諸注意、出場順発表を行う。出場順は別途張り出して確認できるようにしておくことよい。 ・試験は6級、5級、4級、3級の順で行い、5～3級の基本功試験は級の中で2～5名を1グループとし、グループごとに演技を行う。すべての級とも基本功試験全グループ終了後、套路試験は1名ずつ演技を行う。 ・試験には進行係をおく。受験者数によって複数名いてもよい。進行係は合否判定には関与しない。 ・待機中の受験者、終了した受験者が進行中の受験者を見学するのは基本的に許可しない。会場の都合で別室で行えない場合は、なるべく離して待機させ、会話をつつしむよう指導する。 ・下位級(4級以下)の基本功試験は、進行係が示範や口頭で指導しながらでも演技ができればよいものとする。 ・套路試験は、受験者が忘却等で中止や退場してしまった場合、2回までやり直しを認める。
16:30	合格発表、閉会	・試験が終わったら着替えや片付けをさせ、検定員はその間に合否を決定する。 ・再度集合の後、講評(検定員の代表1名)、合格発表、合格者の登録料納付についての連絡をし、抱拳礼をもって終了する。

### 検定審査員

1審査グループにつき、6級～4級はC級以上1名、普及以上2名、3級は、B級以上1名C級以上2名、各審査員グループ計3名で実施する。

### 検定の実施方式

以下に各級検定の実施方式を示すが、これはあくまでも一例であり、参加人数や会場の状況によりこの通りに実施できない場合もあると思われる。具体的には、各審査員グループの中に「主任審査員」1名を定める。「主任審査員」が技術的な責任者となり、検定のすすめ方等の指示を出す。

\*例；受験者が60名を超えた場合は套路試験は6級～4級は5人一組。3級は3人一組。  
基本功試験は5人以上一組。

#### 6級：

- 1) 進行係が1名ずつ名前を呼び、受験者はそれに対して「はい」と返事をする。続いて検定員に向かって抱拳礼をし(検定員の代表が返礼)、入場する。これをもって基本功試験とする。
- 2) 受験者は入場し終わったら、カンフー体操1を演技する。
- 3) その後、抱拳礼をして退場。

#### 5級：

##### 基本功試験

- 1) 受験者は6級と同様に抱拳礼の試験をして入場。
- 2) 1グループ全員が入場し終わったら進行係が号令をかけ、衝拳を行う。「用意」で足を左右に開いて抱拳、「1」で右衝拳、「2」で左衝拳…の要領で回数は適宜行う。「なおいれ」で抱拳にもどり、続いて手を下に下ろす。
- 3) 推掌も同様に行う。
- 4) 終了後、抱拳礼をして退場。

##### 套路試験

- 1) 受験者は名前を呼ばれたら抱拳礼をして入場。

- 2) 入場後、カンフー体操 2 を演技。
- 3) 終了後、抱拳礼をして退場。

4 級:

基本功試験

- 1) 受験者は名前を呼ばれたら抱拳礼をして 1 名ずつ入場。
- 2) 1 グループ全員が入場し終わったら進行係が号令をかけ、転頭を行う。「用意」で足を左右に開いて手を腰にあて、「1」で右へ転頭、「2」で左へ転頭…の要領で回数は適宜行う。「なおれ」で正面を向く。
- 3) 各歩型の試験を行う。進行係が「馬歩になってください。」「用意、はい」と声をかけ、適宜「やめ」の合図でやめさせる。五歩型とも同様に行う。
- 4) 終了後、抱拳礼をして退場。

套路試験

- 1) 受験者は名前を呼ばれたら抱拳礼をして入場。
- 2) 入場後、入門長拳を演技。
- 3) 終了後、抱拳礼をして退場。

3 級:

基本功試験

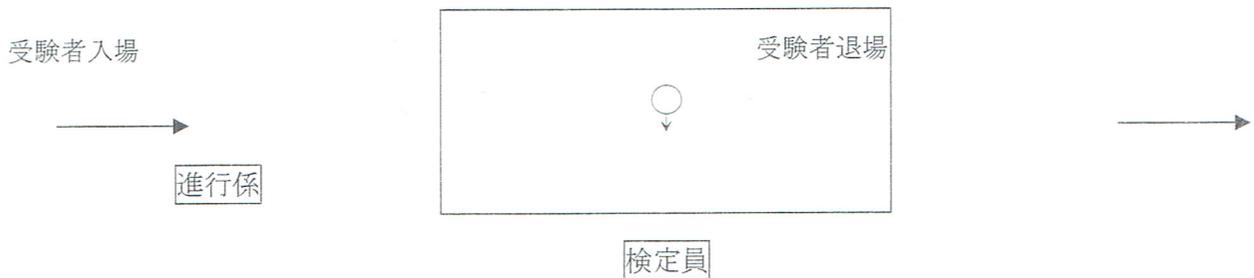
- 1) 受験者は名前を呼ばれたら抱拳礼をして 1 名ずつ入場。まず横一列に並ぶ。
- 2) 進行係の合図により手法組合を行う。「用意」から、「1」で抱拳、「2」で衝拳、「3」で挑掌、「4」で亮掌、「5」で勾手、「6」で抱拳にもどる。回数は適宜行い、「なおれ」で手を下に下ろす。
- 3) 隊形を変え、検定員に対して横向きに並び、腿法試験を行う。「用意」で左右に推掌し、「1、2…」の合図で正踢腿で進む。回数は適宜行い、同様に他の腿法も行う。
- 4) 弓歩衝拳を行う。「用意」で抱拳、「1」で半馬歩、「2」で弓歩衝拳のやり方で進む。回数は適宜行い、同様に弓歩推掌も行う。
- 5) 終了後、抱拳礼をして退場。

套路試験

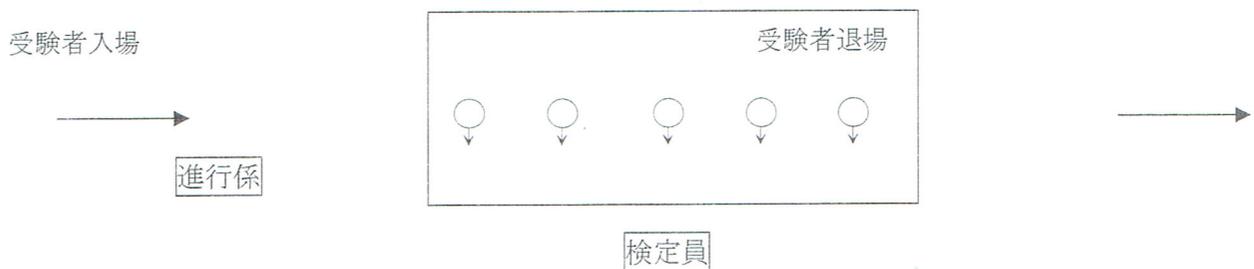
- 1) 受験者は名前を呼ばれたら抱拳礼をして入場。
- 2) 入場後、カンフー体操 1、2、入門長拳を演技。1 套路ずつ区切っても、続けて行ってもよい。
- 3) 終了後、抱拳礼をして退場。

試験位置図

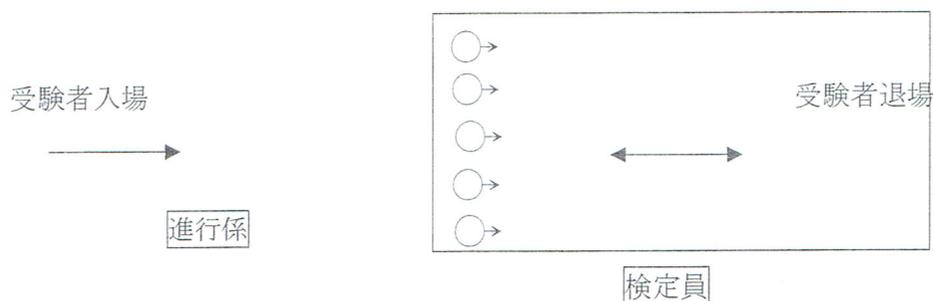
- ① 套路試験(6~3 級) 入退場は会場により、逆になってもよい。



- ② 基本功試験 6~4 級/3 級(手法組合) 入退場は会場により、逆になってもよい。



- ③ 基本功試験(3 級腿法、弓歩衝拳・推掌) 会場により、逆から始めてもよい。



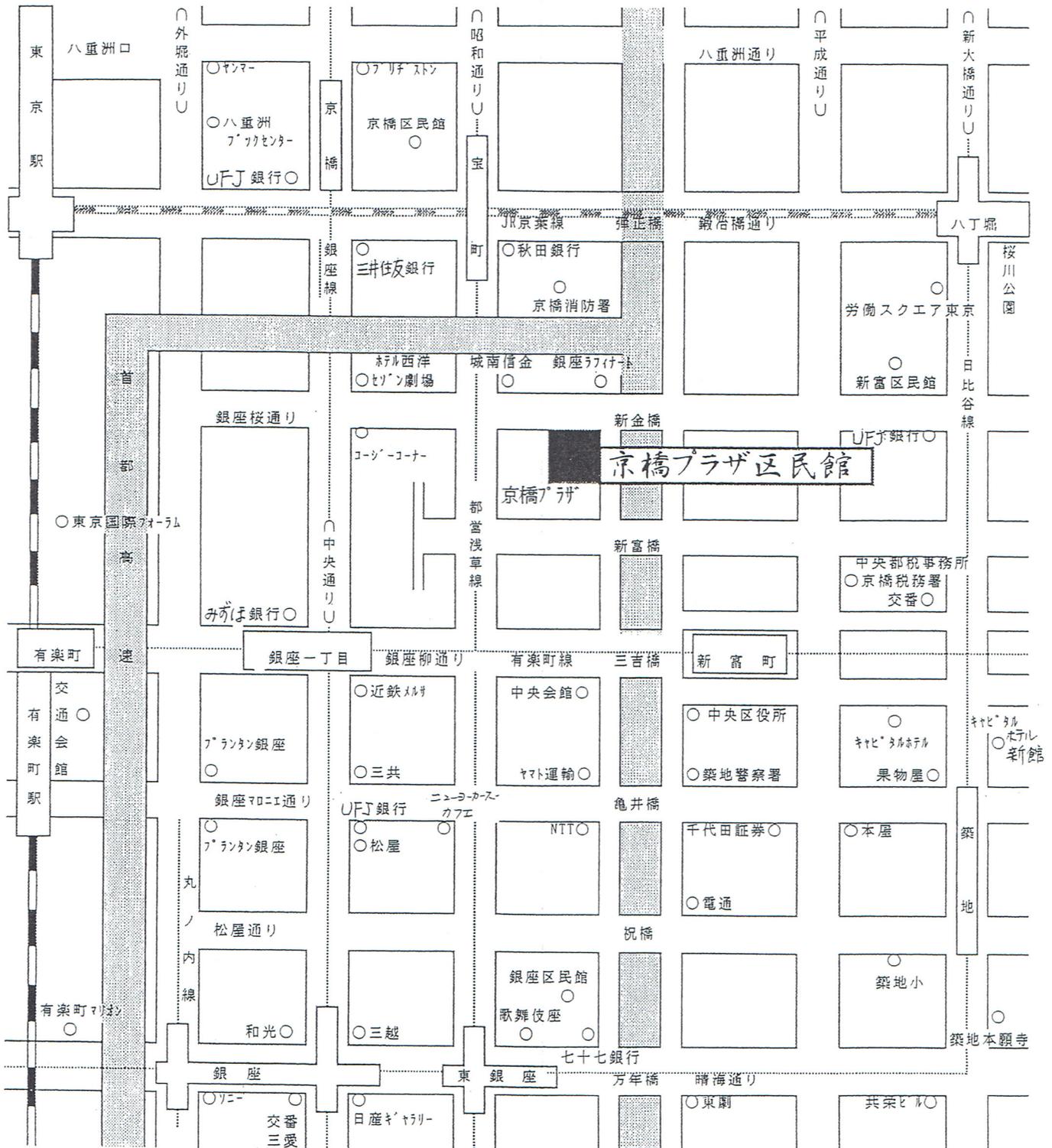
# 京橋プラザ区民館案内図

〒104-0061

中央区銀座一丁目25番3号

中央区役所 京橋プラザ分庁舎2階

Te l 03-3561-5163



## 交通のご案内

地下鉄	都営浅草線宝町下車	A1番出口から徒歩1分	JR	八丁堀下車	徒歩7分
	有楽町線新富町下車	2番出口から徒歩3分		東京駅下車	徒歩13分
	有楽町線銀座一丁目下車	7番出口から徒歩3分		有楽町下車	徒歩10分
	日比谷線八丁堀下車	A3番出口から徒歩6分			
	銀座線京橋下車	2番出口から徒歩5分			
	銀座線銀座下車	A13番出口から徒歩7分			